

令和5年度事業報告

1. 受託事業（福井県から）

事業名	仕様(回数・期日)	内容
広報誌 「あっとほうむ」 の作成	年3回発行 6頁カラー4色刷 (夏号No.220) 247,000部 (冬号No.221) 105,000部 (春号No.222) 247,000部	220・221・222号を発行。関西電力(株)高浜発電所1・2号機の再稼働、国・事業者における使用済燃料対策等の取り組みの確認、原子力総合防災訓練の実施、国の原子力政策に対する県の要望、原子力の諸課題に関する県の対応や事業者の取り組み状況、県内原子力発電所の運転状況、発電所周辺の放射能調査結果等を分かりやすく解説した。 原子力発電所立地および周辺10市町の全世帯に配布するとともに、嶺北市町へは新聞折込及びポスティングによる各戸配布を2回、ほか1回は町内回覧を行った。さらに県内の学校や公民館・関係機関にも送付したほか、各号の点字版と音声版を作成し、目の不自由な人たちにも配布した。また、スマートフォン用アプリから広報誌を配信した。
放射線体験教室・ 原子力講座等 の開催 (一般対象)	136回実施 館内教室61回 出張教室16回 原子力講座59回	広く県民に放射線の基礎知識を正しく理解してもらうため、放射線体験教室を館内で61回、出張で16回開催した。出張の地域別は福井地区5回、丹南地区4回、嶺南地区4回、奥越地区3回。参加者は館内教室が14,403人、出張教室が670人、合計15,073人。また原子力講座は館内で57回、出張は福井市で2回開催した。参加者の合計は11,651人。
放射線体験教室等 の開催 (学校対象)	52回実施 館内教室25回 出張教室27回	県内の小中高等学校を対象に、放射線体験教室を館内で25回、出張で27回開催した。基礎知識セミナーと霧箱装置を使った放射線観察や測定器を使った自然放射線の測定体験および遮へい実験などを実施した。出張の地域別は、福井地区9回、丹南地区7回、嶺南地区11回。参加者は館内教室が1,000人、出張教室が898人、合計1,898人。
講演会等の開催	3回実施	東京大学大学院工学研究科の小宮山涼一教授による「これからの日本はどうなる？～世界のエネルギー情勢を踏まえて～」と題した講演会を、11月11日に福井市と越前市で実施、敦賀会場では福井会場の様子を録画放映した。また後日オンデマンド配信を実施。参加者は合計177人。 1) 10:00～11:30 (会場：地域交流プラザ、78人参加) 2) 13:30～15:00 (会場：武生商工会議所、44人参加) 3) 13:30～15:00 (会場：原子力の科学館「あっとほうむ」55人参加)
出張放射線企画展 の開催	3回実施	家族や若年層を対象に大型商業施設等で、霧箱による放射線の観察、測定器を使った自然放射線測定体験、模型を使った発電のしくみ解説、クイズ形式のパネル展示など、原子力と放射線について参加体験型の企画展を3回開催した。参加人数はサンドーム福井900人(丹南地区)、アグリパートナーエルバ520人(福井地区)、ショッピングモールVIO165人(奥越地区)、合計1,585人。
スペシャル 放射線体験教室 の開催(学校対象)	3回実施	県内の小中学校の校内行事等へ出向いて、放射線の基礎知識セミナーや霧箱装置を使った放射線の観察、クイズラリーやエネルギー体験教室などを3回実施した。参加人数は合計286名。
巡回原子力広報 事業の開催	6回実施	原子力・放射線についての基礎知識パネル等を製作し、県内の公共施設や商業施設等で6回普及活動を展開した。地域別では、福井地区1回、奥越地区1回、坂井地区1回、丹南地区3回。閲覧者の合計は7,161人。
エネルギー 学習バスの実施 (学校対象)	45件実施 (61台)	当センターと県内エネルギー関連施設を見学した、県内の小中高等学校45件に対しバス借上げ料金の一部を補助した。対象別内訳は、小学校41件、中学校2件、高校2件。地域別では、福井地区9件、奥越地区2件、丹南地区18件、嶺南地区16件。参加者は合計2,252人。
エネルギー 体験教室の開催 (学校対象)	115回実施 館内教室52回 出張教室63回	県内の小中高等学校を対象に、いろいろな発電模型などを使ったエネルギー体験教室を館内で52回、出張で63回開催した。出張の対象別内訳は小学校58回、特別支援学校5回。地域別では、福井地区22回、坂井地区6回、丹南地区17回、嶺南地区18回。参加者は館内教室が2,458人、出張教室が2,878人、合計5,336人。

科学実験教室・ 工作教室の開催	83回実施	当館に来館した児童や生徒に対して、科学実験教室等を83回開催した。参加者は10,014人。
エネルギー 学習教室の開催	155回実施	エネルギーについて正しく理解してもらうため、再生可能エネルギーに関する実験等を通して学習する体験教室を37回、クイズラリーを108回、プログラミング教室を10回、合計で155回開催した。参加者の合計は22,184人。
再生可能エネルギー 探求教室の開催	133回実施	新展示館エリアにおいて、各ブースの展示物の解説やワークショップなどを休日および夏休みに133回実施した。参加者は66,031人。
再生可能エネルギー 企画展の開催	3/16・17・20 3/23～29	春休み期間に再生可能エネルギーについての工作教室やクイズラリー、パネル展示、燃料電池で動く乗り物の試乗体験などを開催した。参加人数は9,149人
エネルギー研修 ガイドブックの製作	15,000部	新展示館の紹介と各展示物から学ぶ学習ポイントをまとめたエネルギー研修ガイドブックを製作し来館者に配布した。
放射線&エネルギー クイズラリーの実施	115回実施	親子を対象に、放射線やエネルギーの基礎知識を学んでもらうクイズラリーを館内で開催のイベント時に115回実施した。参加者は計20,442人。
インターネット による情報発信	随時	ホームページで、県内の原子力情報や事業案内を随時更新し提供した。また新規の広報誌や冊子、映像などを掲載した。

2. 自主事業

事業名	仕様(回数・期日)	内容
オンライン エネルギー教室の開催	4回実施	県内の小学生を対象に、放射線の基礎知識セミナーとワークシートを使ったエネルギー教室をオンラインで2日間、計4回実施した。参加者は計107人。
エネルギー・カルチャー講座 の開催	3回実施	大人を対象に、原子力講演会後にエネルギー・カルチャー教室(内容：多肉植物の寄せ植え)を対面形式で3回実施した。参加者は合計167人。 1) 11:45～12:45 (会場：アオッサ、75人参加) 2) 15:15～16:15 (会場：武生商工会議所、43人参加) 3) 15:15～16:15 (会場：原子力の科学館「あっとほうむ」、49人参加)
館内原子力エネルギー 解説ツアー	18回実施	新展示館と原子力・放射線エリアで、展示物の体験を通して基礎知識等を解説するツアーを休日などに18回実施した。
放射線学習支援事業	1回実施	放射線の基礎知識について解説した動画が視聴できるQRコード付きのチラシを、県内中学校へ配布した。
オープニング イベントの開催	4/1～4/9	4月1～9日に、新展示物に関する体験ラリーやワークショップ・科学実験ショーなどを通して、エネルギーの基礎知識が学べる展示館オープニングイベントを開催した。参加人数は合計7,722人。
GWイベント の開催	5/3～5/7	ゴールデンウィーク期間に、エネルギーなどについて親子で体験学習してもらうイベントを開催した。参加者は合計8,690人。
夏休み体験教室 の開催	7/15～7/17 7/21～8/20	エネルギーや電気、放射線などについて親子で体験学習してもらう教室を開催した。参加者は合計29,987人。
こどもの広場 の開催	10/7	電気事業者との共催でエネルギー体験イベント「こどもの広場」を開催しエネルギークイズラリーやスペシャル実験ショーなどを開催した。参加者は2,499人。
あとむフェア の開催	10/8,9	原子力の日になんで、10月に原子力と放射線の基礎知識を学ぶ体験学習イベントを開催した。参加人数は合計4,201人。
SNSサイエンス 情報配信事業	通年	FacebookやInstagramなどSNSを利用して、科学に関するミニ情報や原子力・放射線の基礎知識、来館者情報などを毎週配信した。
各種広報機関および科学館との連絡 会の開催	2回実施	県内4立地市町と4電気事業者の原子力広報担当者との連絡会を開催し事業運営等の連携を深めた。また、全国科学館連携協議会主催のオンライン研修会に参加した。